

私たちが求めるもの

あなたが私を具体的なものとして求める

肌の温度を

声の湿り気を

息の音を

物質的に求める

そのときに

愛は何かに変わるのだろうか

私には見えない

あなたが私を求める力は強すぎて
体を愛の代用とする

私が手のひらにいっぱい抱えて

差し出すものは

愛ではないのだろうか

あなたには

これでは足りないのだろうか

ががつと食欲に

私の手のひらからそれを食べてしまつて

あなたはもっと多くを求める

その暴力的な

地上的な力を

私も求める

私の境界線の

内側に踏み込んでくる力を迎える

快楽をむさぼることで

とりあえず飢えを満足させる

けれども愛はまた見えなくなった

一瞬だけそれは姿をくらませる

私たちは怖れ

飛び散ってしまわないように

お互いにきつくしがみつく